

## ■インターンシップ雑用日記 by.as

実習先：治郎吉商店（主要業務：システム設計・開発）

実習期間：2005.09/01～09/30

筆者：パソコン使用暦だけは長いが、プログラミングスキルはなし

自分は他のインターンシップ実習生より「細かい」ことをやっていた気がします。雑用するのは、社益に直結するという大義名分がないだけに「会社の質」や「働くとは」がしっくり抽出できる、という思いで書きました。

尚、途中に"格言"が入っているのは単純に「好きだから」です。

「All general statements are false.」

## ■2005.07/13 水

### ・面接

ソフトウェア会社にプログラミングスキルが無い人間が行って役に立つのか不安だったのだが、仕事はいくらでもある、と言われた。

先に書くとソフトウェア会社ってのはソフトウェアを開発すればいいわけじゃあないんですね。漠然と理解はしていましたが、このインターンシップを通してかなり実感できました。

「学問なき経験は経験なき学問に優る。」イギリスの諺

また、この会社ではインターンシップに力を入れたり、自社内で開発したライブラリをオープンソースで公開したりしているような。それは自社がやっていることを一般に認めてもらうアピールの一環だとのこと。やはり世間様に認められることは必ずプラスになる、との信念の下。

「市民が本当に欲しいのはパンと見世物だけ。」Juvenal "風刺詩"

## ■2005.09/01 木

### ・JPSA(日本プロサーフィン連盟)公式ジャッジシステム 5.5hr

相変わらず物怖じしないというか、状況判断能力不足な私はこの5時間半の耐久テストですっかり場に馴れました。

「どこにいるのかを気にしなければ迷子にはならない。」Rune's Law

・ ホームページ 2hr

2005 年度インターンシップのページ作成.

プログラムもできないし、雑用感で割り当てられたと思うのだが、

結局 1 ヶ月通してホームページ更新に関わることになる.

ほとんど文字列を書き換える程度のことで作り終えるが、

それをすぐには上げないということにカルチャーショックを覚えた.

大学でも研究室のページを改変したが、バックアップこそとってあれ

「作ったら上げてみて、ネット上で確認」というテキトーさでしたから.

TIPS : リンク文字列とリンク先のタイトル文字列を一緒にすると判り易い

「躊躇する者はたぶん正しい。」 Bogovich's Law

・ その他 1hr

代表取締役の白石氏と 1 ヶ月の方針を話す.

一番記憶に残ったのは「会社は自分の場所じゃない」ということ.

これは自分の席がないというだけではなく、基本的に「ここに来る意味」

が薄いということ. 講義や実験ならそこに行く意義があるが、

ソフトウェア会社だと会社のパソコンを使う意義は低い、と.

もちろん会議などはあるが、それはもはや「自分の場所」ではない.

「哲学する者にとって全世界は流謫の地である。」 Victor Hugo "学習論"

終業 : 午後 8 時

■ 2005.09/02 金

さっそく寝過ぎす.

3 日前までの研究室合宿と、そのゼミ準備に伴う半徹の疲れがまだ残っていたか….

数年前の鬱状態なら逃げてたが、電話をかけて駆けつける、11 時.

「自己欺瞞ほど安易な道はない。」 Demosthenes

・ 雑用 1.5hr

棚を動かしたら床にサビががつつり着いちゃったんで、それを取る.

近所のスーパーでクレンザーを買ってきて、ガシガシやる.

たわしじゃ落ちない細かいところは十円玉でコシコシやって、

1 時間かけてキレーにする.

・ ホームページ 4.5hr

VectorWorks 店舗設計用データ集「プロシリーズ」の新デザインページのリンクをチェックする。

しかし Macintosh (OSX) は使い難い。

右クリックがないのはそれだけ GUI が洗練されているからかと思っていたんだが、Ctrl+クリックを用いらないとできない操作が多い…。

Classic の時は大丈夫だったのかな？

終業：午後 8 時

■ 2005.09/05 月

・ 雑用 2hr

リニューアル中のホームページ整備をしなくてはならないのだが、担当の S 氏が来てなくて判らないので雑誌スクラップを 3 冊やる。

「世界はあなたに無関心。」 John Ciardi

・ ホームページ 2hr

外部デザイナーの O 氏から新デザインのデータを送ってもらい、リンク更新。

・ 雑用 1hr

購入した本を、図書管理システム「Jirobook」に登録

14400bps の頃からネットを使用してしていた身とは

Web でデータ管理という概念がなかったのだが、

「ああ、これなら Web でやる必要性があって面白いな、」と思った。

「技術は必然より弱い。」 Aischylos "縛られたプロメテウス"

・ 雑用 2.5hr

たまっていた使用済みファイルの背や表紙を消して再生

修正テープがすこぶる使いにくいので、紙を適当に切って貼っていく。

終業：午後 6 時半

■2005.09/06 火

- ・ VectorWorks 切削 CAM Plugin 「MachiningStar25」 4hr

マニュアルを見てとりあえず操作してみてくれ、と。

知識の無い人向けにできている筈なので、それをチェックする為だと言うので書き込みながらやったら、ほぼ全ページにペン入れをした。文章を書くのがヘタでも校正はできるもんだ。

「十分に理解している事は、まったく表現できない。」 Albert Einshtein

- ・ ホームページ 4.5hr

ローカル上でホームページを全て再現する。

- ・ その他 0.5hr

文章構成を担当している外部の I 氏による「ビジネス文章の書き方」講座  
何を置いても「読み手を意識する」のが大切である、と。

「真理とは抽象物であり、非現実的な虚構である。」 Baruch de Spinoza "Ethics"

終業：午後 7 時

■2005.09/07 水

- ・ ホームページ 6hr

連絡フォームだけの「Q&A」のページに住所等を入れて「連絡先」にする。

ページそのものの改変は苦勞なくできたのだが、その他のページのフッターに一通り「Q&A」の文字列があり、かなり手間がかかった。

リンクの更新は Perl で一括変換できたのだが日本語は巧くできないのでリンク文字列を手動でちょこまかちょこまか直す。

家のパソコンをカスタマイズしすぎるとデフォルトでの操作が覚束ない…。

更に細かいリンク更新をしたりと単純作業を 5 時間ぐらいやったら

何やらへろへろになった。

「もっと簡単な方法が必ずある。」 lles' Law

終業：午後 7 時

■2005.09/08 木

・ ホームページ 3hr

昨日機械的にやったリンク更新のチェックをカチカチカチカチと.

「些細なことが完璧にするが、完璧にするのは些細なことではない。」

/Buonarroti Michelangelo

・ Jirobook 2.5hr

外部デザイナーのO氏との会議を聞いているように言われる.

Java Servlet を使っているせいでhtmlだけ見ても

デザインが判らないところがあって、デザインできない、と.

O氏は「デザイナーであってプログラマーではないから」、

あまりhtmlの詳細な部分はいじりたくないらしい.

デザインだけを変更したつもりでプログラムが狂った場合に

責任のありかが判らなかつた例を身近で見ているとか.

白石氏曰く、その様なことが起こったらプログラマーがフォローすれば

よいのだから、デザイナーにはどんどん仕事をしてもらって、

プログラマーはある意味人海戦術を用いるというのが良いのではないかと.

今回をそのテストケースとして、巧くいけば今後もそれでいけるので、

どんどんやってくれ、と. なるほど、要は現在はデザイナーとプログラマーの

領域分けが曖昧、ということだな、っと.

「小分けにすれば難しい仕事はない。」 RayKroc (McDonalds' 創設者)

・ Jirobook デザイン修正 2hr

細かい表現の修正. 様は文字列の改定だけ.

終業：午後6時半

■2005.09/09 金

・ ホームページ 2hr

自分で作ったものを自分で調べるのは駄目だとのことで、

Y氏とホームページチェック. ちょこちょこと直すところが出る.

「いかなる問題も、それをつくりだしたのと同じ意識では解決できない。」

/Albert Einstein

・ Jirobook 4.5hr

実際に使用しながら「利用方法」の記述.

Web ってのはそこら中にリンクがあるんで、全てを網羅しつつ

簡潔に書くのが結構大変で、思った以上に時間がかかった.

「全てを見渡し、多くを見逃し、少し直せ。」 Pope John XXIII

しかし Macintosh/PowerBook ってのは何故フォントがこげな見難いのだろう？

デザイン自体は好みだろうが、Windows+MS ゴシックの方が見栄えが全然良い.

まさか Osaka もヒラギノもビットマップを持っていないのだろうか？

それともアンチエイリアス機能か何かが良くないせいかな？

フォント文化が Macintosh の方が栄えている(気がする)のは基本が

あまり良くないせいだろうか？ Classic ではどうなんだろうか？ …よくわからん.

「信じれば神、信じなければただの石。」 インドの諺

・ その他「インターンシップ中間発表」

13 日付で終わる方々のまとめレポートの発表.

正直、面白いところがすっぱり削られて「もったいない」感じ.

JPSA にしても、自分が数回手伝っただけでも

面白い「仕様」が見つかったりしていたのに、その辺には全然触れられていない.

その分 Y 氏の日記は脇道の細かいところも書いて面白い.

というわけで自分も日記にすることに.

元々普段から HP200LX で日記をつけているので流用できるし.

「人は普遍的なものを利用するが、愛しはしない。」 Wolfgang Gethe

その後飲み会. 自分は飲んでませんが、で、白石氏と色々話す.

ここでやっている VectorWorks の PlugIn の開発ってのは、

ソフトウェアの技術よりは「使用者が何を求めているのか」を汲み取り、

まとめる能力、白石氏が言う業務とソフトウェアの「翻訳」が必要になる.

で、そういう能力はどうすれば身につきますか？ と聞いたら、やはり経験だと.

白石氏が前にやっていた、どういう機能のソフトウェアが欲しいのかを聞いて、

それが実現できているものを探す、という仕事が現在に生きている、と.

「空想は知識よりも重要である。知識には限界がある、空想は世界を包み込む。」

/Albert Einstein

自分はそれまで「営業」という職種にまったく興味がなかったのだが、このインターンシップを通して営業もありかな？ と思い始めてきた。

終業、というか飲み会終わり：午後11時半

#### ■2005.09/10 土

所要で研究室にハンコを押しに行く。行き帰りの電車で昨日白石氏に借りた

『ライト、ついてますか』 Donald G.Gause, Weinberg, Gerald M. を読む。この題名は、この本で取り扱われている看板の文章。

こういう場合はライトをつけて、こういう場合はライトを消して、なんて例示をダラダラ書くよりも、「ライト、ついてますか？」とだけ書けば、ドライバーも馬鹿じゃないので、今どうすればよいか気づく、と。つまりドライバーの考えを喚起させてやればよいのだ、という例。この例の通り、この本は読者の頭の中を喚起させる内容となっている。なのでこの本がどういう内容なのかを簡単に表すのはすごく難しい。が、内容的には読んで損はないし、特に標語好きにはお勧め。

#### ■2005.09/11 日

金曜日にホームページのもう使っていないページを削除するように言われたので、ページ一括ダウンロードソフトでホームページを落とし、使われているページの一覧をメモしておく。

#### ■2005.09/12 月

・ホームページ 3hr

使われていないページを削除して、ローカル上でもう一回リンクチェック。

で、やっとアップロード！ WebServer 上の頁を削除している時、バックアップがとってあるのにイヤにドキドキする。

で、ネット上でもう一回総チェック。

「偶然への対策はない。」 Borkowski's Law

・Jirobook 1.5hr

利用方法を打ったりだとか。

・プロシリーズ 1.5hr

流れは忘れたが、白石氏と「どうしたらプロシリーズが売れるか」を話す。  
結局宣伝ページへのリンクを張ってもらうというあたりきなオチになった。

「未来を予言する一番よい方法は、未来を作り出す事である。」 Alan Kay

終業：午後 6 時半

■2005.09/13 火

・ Jirobook 1.5hr

校正されて戻ってきた利用方法草案を再び改訂。

・プロシリーズ 3hr

ホームページの「使い方」を見ただけで本当に使えるのかどうかを試す。

終業：午後 6 時半

■2005.09/14 水

昨日で多くのインターンシップ修了者が出たので、人が少ない。

多いときは 7 人位で使っていた机に自分一人です。

・ MachiningStar25 6.5hr

VectorWorks が 11.0 から 11.5 に変わったことによりあった、  
以下の内部仕様変更に合わせて、MachiningStar25 をリコンパイル

- ・ コンパイラが VisualC++ 6.0 から 7.0 に
- ・ 全部 Win 用に整備され、元々開発されていた Mac のしがらみが  
無くなったので、MacEMUL.lib へのリンクを外す
- ・ double\_t 型の関数を double に (理解してない)

ユーザーとしては関りが無い部分なので 0.5up なのだが、

0.5up で一通りリコンパイルするのはなんだか不条理な気が。

午前中に 1 つコンパイルするところまで行き、2 時から 6 時半まで延々とコンパイル。

「新しいシステムは新しい問題を生成する。」 John Gall "Systemantics"



・その他 1.5hr

昼飯後に白石氏に本を返した際に、

流れで「YAO をオープンソースにする意味ってなんですか？」と聞く。

まとめると基本的には「アピール」、2 番目は「トレーニング」だそう。

「アピール」の方はこのレポートの「面接」で書いた通り。

「トレーニング」とは、インターン1ヶ月で判る程度の大きさだし、

治郎吉商店のコーディング規約に従っているので、

これを見させれば治郎吉商店での仕事に入り易い、と。

「普遍的法則となる事を望む様な原理に基づいて行為せよ。」

Immanuel Kant "道徳形而上学言論" 定言的命令

その他にも話が転々として、2時まで話をした。

自社用ソフトを作る事は「ユーザーを考えるトレーニング」にとっても役に立つと。

通常得られ難いフィードバックが即刻フィルタなしで得られるので。

後やはり自分が「作りたい」と思うものを作らないと技術が上がらないらしい。

「人は不可能に見える可能性より、可能に見える不可能を好むべきである。」

Aristotele "詩学"

あと一番面白かったのは「相手がまじめに注文しているのか確かめる方法」。

人より早く、多くのソフトを見つけたいが為に、金を動かす権限はないまま、

打診のつもりで少々フライング気味に「こんなのできますか、」と

聞いてくる人が意外と多いそう。その言葉を頼りに開発を行って、

結果門前払いだったり、プロジェクト自体は受け入れられても

「採用できないので金はゼロ」と言われたりした事例を結構聞くそう。

で、それを避ける為には自ら注文する側に立って、予算・納期・詳細書等

「注文するとしたら必ずかかえてなくてはいけないもの」を

要求するのが良いそう。実際、治郎吉商店でも「できますか、」電話に

「開発できるか調べる為にかかる金額」を言ったらすぐ引く事例が

年に2~3件あるそう。おそろし。

「見込みだけが確信できる。」 Douglas MacArthur

終業：午後6時半

■2005.09/15 木

・ MachiningStar25 4.5hr

昨日コンパイルしたののテスト、兼使用方法取得.

A氏に一通りツールを使ってもらって、横で見ている.

「全体は部分の総和ではない。」 EmileDurkheim (ゲシュタルト心理学)

・ Jrobook 3hr

利用方法を html 化、及びまたまた修正.

「もし現象と本質とが直接に一致するならば一切の科学は不要であろう。」 Karl Marx

・ アンケートサイト「A」 3hr

白石氏とAで使われているデータテーブルの見直し.

メインは要不要の選別と改名なのだが、

どうしても「期間内にちゃんと送り返してくれるユーザーを優遇」という、

バイアスを無視した前提が気になって、そこばっかほじくっちゃう.

結局「基本、サイトはデータを供給するだけ」という事を説明されて

やっと理解できる. アンケートはあくまでアンケートで、

それ以上でも以下でもなく、それをどう利用するか判断なんかは企業がやると.

…理解はできても完全に納得が行きはず、帰りにもグズグズと一人で悩む.

「事実とは凝固した見解のこと。」 Dunlap's Law of Physics

終業：午後10時

■2005.09/16 金

・ アンケートサイト「A」 8.5hr

Aの資料を一通り読む. 昨日自分が考えたバイアスの均らしなんかは、

当然の如くやっていますな. じゃなきゃ生き残れないもんな….

その後再び白石氏とレビューをしていて、これは顧客として

一回試した方が良いな、ということになる. その為に10分程度で考えた

アンケートが、ほぼそのまま採用されてしまい、恐縮する.

「自分の益となるなら悪魔でさえ聖書を引用する。」

・ Jirobook 2hr

I 氏に利用方法を見てもらう。以下覚え書き。

- ・ 一般利用者が見るものだということで「and 検索」という言葉は省いたのだが、「あ、つまり and 検索のことだな、」と判る書き方をしなければ今度は馴れている人の方に不親切。
- ・ 行為と結果表示を「～をすれば、」で結んでいたのだが、「じゃあしなかったら？」という方に頭が行ってしまうので、素直に導きたいのなら「～をすると、」と書く。
- ・ 否定形で終わると感じが悪い

× チェックは1項目でも複数項目でもかまいません

○ 複数項目をまとめてチェックすることもできます

また否定形で終わると「できないことの記述」となってしまう。

「知解する為に信じる。」 Anselmus "Proslogion"

終業：午後10時

2日連続で10時まで残る。カネも貰っていないのに。

自分は現在2時間かけて大学院に通っているが、6時過ぎには帰りたくなる。

7時に出ても9時には帰れるわけで、ここに10時までいて11時に帰宅するよりも早いのだが、疲労度は前者の方が大きい。今は2年間ということ頑張っているが、やはり会社は家から1時間以内がいーなーと実感する。

「為すべき仕事を沢山持っていないと怠情を楽しめない。」

Jerome Klapka Jerome "怠け者の怠情な考え"

■2005.09/20 火

・ ホームページ 1hr

前回デザイナーのO氏が来たときに助言を受けたことを元に改変

ついでに家で動作チェックをした際に気づいた

「トップページに「更新中」の一文を入れた方が良いのでは？」

という疑問を白石氏に聞く。正直、一部だけデザインが違ってかっこ悪いので。

が、「これで機能する」と考えてアップしたわけだから、

何を書いても言い訳にしかならないのでいらない、と言われた。

「語りえぬことには沈黙せねばならない。」 Ludwig Wittgenstein "論理哲学論考"

・雑用 1.5hr

購入した本棚を導入したことに伴う片付け

・データ変換「PYTHA 取り出し」4hr

紹介ページ用画像作りをしたのだが、

「ドラッグしてはダメ」という「CADなら常識」な事に気付かず、

そのデータは使えず。ってんで、気分何もやんなかった感じでチョン。

「人は知らないものを知ることはできない。」Platon

終業：午後6時半

■2005.09/21 水

・アンケートサイト「A」2.5hr

前回作ったアンケートのレビューと共にデータテーブルの直し。

「重要なのは事実につけるラベルの名前であり、事実そのものではない。」Cohen

・Jirobook 2hr

再びI氏に利用方法を見てもらおう

自分ではそんなつもりはないのだが、「全体的に文語的だ」と言われた。

が、文語には、普段使っていないコトバという違和感があり、

注目が集められ、強調ができるという利点もあるそう。

「予想をしなければ予想外の見出せない。」Herakleitos

・PYTHA 取り出し 1.5hr

3D CADは不慣れで面白い。

「思考はそれ自体が目的である。音楽の如き。」Albert Einstein

終業：午後7時

■2005.09/22 木

・アンケートサイト「A」4hr

とりあえず現在のデータテーブルを一通りスプレッドシートに打ち込み、

それなりに時間をかけて吟味するが、あまり改変できず。

やはり一人でうなっているのもダメか。

「何を書けばいいのか分かっているのが良いプログラマ。

何を書き直せばいいのか分かっているのが凄いプログラマ。」 Eric S. Raymond

・ Jirobook 1.5hr

夕刻に顧客から来た要請に応じた、表現統一の為の html 改変

「コンピュータで問題が解けるのは素晴らしい。

だが私だって問題を理解したい。」 Eugene Wigner

終業：午後 8 時半

■ 2005.09/26 月

・ アンケートサイト「A」 9hr

昨日入力したフィールド名のレビュー

テーブル A と B に同じ X という目的を持ったフィールドがある場合、

つい「A\_X」「B\_X」のようなフィールド名をつけてしまうが、

これは設計する際には判り易いが、後々に混乱する、と。

それより参照先となる方を「A\_X」参照元となる方を「B\_A\_X」と

しておけば、後々に改変した際にもついていける、と。

命名規則 1 (×)	A_X	B_X	設計時に便利
------------	-----	-----	--------

命名規則 2 (○)	A_X	B_A_X	運用時に便利
------------	-----	-------	--------

「事態を複雑にするのは単純だが、単純にするのは複雑である。」 Meyer's Law

・ 雑用 1hr

ファイルの整理。会社では「資料探し」が時間短縮の肝だと言われた。

ある事業に関する資料をファイルする時、通常はまず「受信」「送信」で分けるが、

ここは共同開発なのでトップに「通信」という分類を作るそう。

「先程の会議まとめをメールします」なんていうメールのプリントアウトは

受信か送信か不明なので。

「信頼せよ、だが確認もせよ。」 Ronald Reagan

終業：午後 9 時

■2005.09/27 火

・アンケートサイト「A」 5.5hr

テーブルの「ER 図」とやらの作成とレビュー.

初めてさわった OmniGlaffle というソフトを使ってこつこつとやる.

・MachiningStar25 2hr

宣伝ページの作成. 自分で操作して絵を撮って、構成を考えたあたりまで.

「決断しない事を決断するのは決断、決断しそこなうのは失敗。」 Fox on Decisiveness

終業：午後 8 時

■2005.09/28 水

・MachiningStar25 2hr

昨日に続き宣伝ページの作成. html 自体はタグのベタ打ちなので

サクッと出来上がりだったんだが、構成も自分で考えたので、面白かった.

「偉人には目標があり、凡人には願望がある。」 Washington Irving

・その他

今日は社員が少なく、電話を 2 回とったのだが、2 回ともヘマをした.

最初は誰もいない時取って、誰への電話かは聞いたのだが用件を聞かなかった.

用件を聞かないと誰から電話があったか知ったところで

「用件はわからないけどコールバックしなきゃ、」という面倒なことになるので、

取り継ぎの際には必ず用件を聞くように言われる.

更に H 氏が電話中にもう一本電話がかかってきて、

出たらそれも H 氏へだったんで、とりあえず保留にして H 氏を見たら

電話を切ったんで渡したんだが、「なんで保留にしたの？」と.

そうだよな、普通に考えればここは「折り返しご連絡を～」だよな…。ねえ….

ちょっと考えれば判ることなので、今まで考えてなかったってことです.

昔から対面会話へは物怖じしないが電話は苦手な性格、なんだが、

それを差し引いても電話は難しい….

「人は危機に臨むと最悪の選択をする。」 Rudin's Law

終業：午後 6 時

■2005.09/29 木

・PYTHA 取り出し

ほぼ一日中 3D モデルをいじってた。

最初の方は初めてだらけでかなり時間がかかった。

コツが掴めてからはガッと進むが微調整に入ると、

今度は変換・読み込みの待ち時間があってまた進まなくなる。

けどなんとか本来の目的である宣伝ページの雛形まで辿り着く。

「私の歩みは遅いが、歩んだ道を引き返すことはない。」 Abraham Lincoln

終業：午後 8 時

■2005.09/30 金

インターンシップ最終日！ えっ！？ もう！？ マジで！？ ってな感じ。

まったくそんな気がしない、というより、はっきり言いまして

研究室の方が遠く感じています。ここに来なくなることも、

研究室に行くということに違和感を覚えています。

まあ、例によって生まれれば 1 日目で慣れるだろうが。

って、まあ、それよりも、ここにまだアルバイトにくるといの方が大きいんですかね。

「若い頃は自由を求め、年をとると秩序を求める。」 William Durant

・PYTHA 取り出し

購入ページやら PYTHA RadioLab の頁やらを追加して大方完成。

・その他

白石氏にインターンシップの感想を聞かれる。

まとめついでに、特に感じた大学や大学院との差異を 3 つ上げておく。

1. 記録を大事にする

これはもうプリンタの使用方法にがっつき現れていますね。

大学では基本的にプリンタは使わないことになっていますが、

会社では基本的に印刷することになっています。印刷しないと怒られますし、

ちょっとした改変をレビューしてもらうにも、とにかく印刷し、

そこに書き込んでいきますし、場合によってはそれを取っておきます。

つまり、会社では「途中経過」をものすごく大事にします。  
それに対して大学では期間が決まっているせいか、  
極端な話「論文が出来れば終わり」というイメージが強い。

「過去を記憶できない者は、過去を繰り返すしかない。」 George Santayana

## 2. レビューを大事にする.

自分は「でいすかっしょん」が好きなのですが、  
好きだと思っていない人を引っぱってくる気概はありません。  
が、ここではレビューするのが当たり前。  
それは作品だけじゃなく、「これから何をするのか」も含まれる。  
役に立つだろうから、と勝手にやってもそれは自己満足。  
常に報告報告。大学では「自主性がない」と思われかねないほど報告報告。

「経験は決して誤らない、経験に基づかない予測が誤るのである。」 Leonardo daVinci

## 3. 時間の密度が違おうと

大学や大学院の研究室ではそんなにやることなくても  
「なんとなく」ダラダラ残っている事が多いのだが、  
それよりは時間内にやることをやってスパッと帰った方が良い、と思えてきた。  
少なくともここでは「残業している」ことそれ自体はそんなに重要視されない。  
それよりは時間内でやれることをちゃんと計算して、  
ちゃんと予定が立てられる方が客商売としては正しい気がした。

「人は常に時間がないとこぼしながら、  
時間が無限にあるかの如く振る舞う。」 Lucius Seneca

で、白石氏からは「キャッチアップが早い」と言われた。  
つまり、何をやっていて、何をやるべきで、自分にはそれができるのか、  
判断が早い、と、確かに、話の「流れ」を掴むのは巧いと自負していたんだが、  
一方で物怖じしないのは「状況判断能力がないから、」とも思っていて、  
このどっちかが間違っているのか、それとも、そもそもこの2つは矛盾せず  
同居できるものなのか、ちょっと迷う。

「真の天分とは、並外れたことができるのではなく、  
普通通のことを並外れてうまくやれることだ。」 Louis H. Wilson



・雑用

近所の倉庫まで物品を納めに行く。…わずか5分の自動車で酔う。  
正直あと数分乗ってたら吐いてたほどになり頭が回らず、  
ってなわけで、最終日にもかかわらずその後はあまり実感が無い。

「世界は事実の総体であって、事物の総体ではない。」

Ludwing Wittgenstein "論理哲学論考"

終業：午後8時

以上を持ってインターンシップ終了！ なんとか無事に終わりました！

「立派に死ぬのは難しくない、正しく生きる事こそ難しい。」

Roberto Rossellini "無防備都市"

■まとめ

インターンシップとは基本的に「カネのもらえないアルバイト」である。しかしよく考えれば、大学には金を払って行っているわけであり、それに比べればまだ失うものは少ないもんだと思う。なんのために金を払ってまで大学に行っているのかといえ、まあ普通は将来のためである。ならば金も払わずに色々と体験できるインターンシップが有意義であることは揺らぎが無い。もちろん、現在アルバイトをしていて、それにより将来の役に立つ体験ができていくのなら、金がもらえるアルバイトを重視したほうが良い。だが夏休みだけアルバイトをして、それが有意義な内容であるかどうかは決め手が少ない。それに比べてインターンシップ、特に大学を指定して採用しているところでは多くの方がレビューをしているので、かなりの実情が判ると思う。少なくとも自分が実習させてもらった会社の代表取締役の方は、思想がかなりしっかりしているので、どんな仕事をやらせてもらっても役に立つと思われる。

ついでに言えば、「研究のことをまったく考えなくてよい1ヶ月」というのもなかなか気分的にオツなものなのである。1ヶ月すればまた研究に戻れるという確証があるので、安心して忘れられます。就職しちゃうとなかなか「完全に仕事と無関係な1ヶ月」を取るのはなかなか難しいと思われますし、1ヶ月くらい良いんじゃないでしょうか。

「どんなものかわかったときには半分過ぎているのが人生。」フランスの諺

以上

「There is always one more bug.」